

神居中学校学校だより



Vol.7
令和6年10月25日発行



■学校教育目標■

「深く 思考しよう」
「広く 思いやろう」
「たくましく生きよう」

■校訓■

「ねばり強く たくましく」

■令和6年度 学校像■

「底力のある学校」

学校HP <http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/kamui-jhs/cat525>

今年も神居中の伝統として、「合唱コンクール」がありました。僕のクラスでは「絶対に隣のクラスに勝とう！」と毎日全力で練習していました。ですが、結果は…惜しくも負けてしまいました。今までの努力が水の泡となってしまったかのように感じました。クラスメイトの中には泣いている人もいました。けれどもそのとき、僕の担任の先生は、笑顔で明るく「惜しかったな」と僕たちに声をかけてくれました。教室の雰囲気はとても重たく感じられましたが、先生のおかげで、僕は少し気持ちが楽になるのを感じました。

神居中学校の先生は、とても良い人ばかりです。そんな先生方がとても大好きです。僕は、大人になっても、ずっと忘れずにいたいと思います。

「英語発表大会」



10/16(水)に旭川市中学校教育研究会外国語班主催の「英語発表大会」が勤労者福祉会館で開催され、1年生2名、3年生1名が参加しました。

1年生の2人は教科書 Unit 3 “A Club Activity” をすべて暗記して、気持ちを込めたとても素晴らしい発表をしました。また、3年生は社会の授業の課題で作成したレポートを英語にし、“Oil deletion(石油の枯渇)”というスピーチをしました。3年生らしく、難しい単語もありましたが、堂々と発表しました。

なお、1年生はパフォーマンス部門で2位となりました。

「いじめ防止に関する出前授業」～いじめ防止に向けた取組～



10/7(月)、スタンドバイ株式会社の鈴木様を講師にお招きして、いじめ防止に関する出前授業を実施しました。

授業のテーマは「いじめの傍観者にならないために」でした。15分ほどの映像を視聴した後で、「あなたならどちらを選択しますか？」という問いに対して、周りの生徒と意見交流をする場面が設けられました。意見交流の後には、指名された生徒が全校生徒の前で自分の意見を立派に発表する姿もありました。

講師の先生からは、「挨拶も素晴らしいし、真剣に考えている姿がとても素晴らしかったです。今日は寒かったけど、心がとても温まりました。」とお褒めの言葉をいただきました。

★11月の行事予定★

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1(金)全委員会⑦
3年個人写真撮影 | 15(金)三者教育相談(全学年)③
給食費等引き落とし日
数学検定 |
| 3(日)文化の日 | 16(土)旭川選抜中学校バレーボール大会 |
| 4(月)振替休日 | 18(月)三者教育相談(全学年)④ |
| 5(火)SC 来校 | 19(火)三者教育相談(全学年)⑤ |
| 6(水)職員会議 | 23(土)勤労感謝の日 |
| 7(木)1・2年学力テスト
3年学力テスト(総合C) | 25(月)授業力向上推進チーム来校 |
| 8(金)全校集会 漢字検定 | 26(火)SC 来校 |
| 10(日)市P連研究大会 | 28(木)2学期末テスト(1・2年)① |
| 12(火)人権教室(全学年) SC 来校 | 29(金)2学期末テスト(1・2年)②
校内安全点検日 |
| 13(水)三者教育相談(全学年)① | 30(土)加盟団体中学生冬季卓球大会 |
| 14(木)三者教育相談(全学年)② | |

宿泊研修 スローガン「共同 ～共働・協同・協働～」



2年生は 10/1(火)～2(水)の1泊2日で宿泊研修に行きました。1日目は、赤平市にある植松電機へ向かい、植松社長の講話を聞いた後、ロケットの製作体験を行いました。真剣に話を聞いた後でも集中力を切らすことなく、ロケット製作を行いました。色を付ける

段階では、それぞれがオリジナリティあふれるデザインを考案し、楽しく作業を行いました。その後のロケット打ち上げでは、全てのロケットが無事に飛び立ち、打ち上がるたびに大きな歓声が上がりました。その後、昼食を食べて宿泊先のネイパル深川に向かいました。到着後に、研修のまとめとウォークラリーを行いました。仲間と協力しながら行動する姿が大変立派でした。

1日目の最後は体育館で学年レクを行いました。借り人競争とドッジボールを行い、全員が全力で楽しむことができました。今回の研修のスローガンである「共同～共働・協同・協働」がしっかりと達成できていると感じられる時間となりました。



2日目は、旭川市内の専門学校(旭川大学情報ビジネス専門学校・旭川医療秘書専門学校・北都保健福祉専門学校)での職業体験学習からスタートしました。3か所の専門学校でそれぞれに専門的な講義を受けたり、体験学習を行ったりと、自分たちの将来や働くことについて考える良い機会となりました。「将来のために今できることは、基本的な生活やあいさつ、コミュニケーションを大切にすること」「やりたい事や、興味のある事に全力で取り組むこと」など、中学生としての将来への向き合い方についてもお話をいただきました。どの専門学校でも学習に臨む生徒の姿勢は素晴らしく、真剣に話を聞く姿が褒められるなど、充実した研修となりました。

この2日間は、2年生が成長する上でとても大きな経験となりました。今回の宿泊研修で得た成果と課題を今後の学校生活や来年度の修学旅行につなげていきたいと思っています。

「私の意見発表会」

10/9(水)に旭川市中学校連盟主催の「私の意見発表会」が忠和中学校で開催され、2年生の1名が神居中学校代表として参加しました。発表当日に向けて練習を重ねて、立派に発表することができました。本人・保護者の了承を得て、全文を掲載させていただきます。



「先生という存在」

普段、学校に行くとき必ずいる「先生」。その「先生」という存在は、僕たちにどのようなものを与えてくれる人なのでしょうか。僕は、「先生」がいる意味というのは、三つあると思います。

まず一つ目は、「知識を与えてくれる」ことです。もちろん、学校の先生です。当たり前のように僕たち生徒に知識を与えてくれていますが、そこにはもう一つ意味があると思います。それは、学習の「内容」を教えるというだけでなく、学習の「方法」も教えてくれているということです。学習内容をただひたすら教えてもらうだけでは、全てを頭の中に入れるというのは簡単ではありません。そこで先生方は、学習の「方法」も教えてくれます。例えば、家庭学習。先生方は、僕たちに「どのように家庭学習をしたら良いか」を、とても丁寧に教えてくれたことがありました。そのおかげで、効率よく継続して家庭学習を提出することができるようになりました。このように、先生方は、ただ授業をして、僕たち生徒に学習内容を教えているだけではなく、学習の方法を教えることによって、学習内容が効率よく頭に入るようにしてくれているのです。

次に二つ目は、「人間性を高めてくれる」ことです。将来、社会に通用する人間になるために、人間性を高めることはとても大切です。では、学校生活のどのような場面で人間性を高めていると考えられるでしょうか。僕は、部活動が一番人間性を高めてくれている場面だと思います。そして、部活動の場面では、先生方はボランティアとして僕たちをいつも支えてくれています。そんな先生方に対する感謝や、先生方の期待に応えようとするこも、人間性を高めていける一歩だと思います。それに加えて、より一層人間性を高めることができるのは、部活動の大会や練習試合だと思います。大会や練習試合は、「日々の練習で身に付けたことをいかに発揮できるか」が大切ですので、これらのことは、とても将来の役に立ってくると考えられます。そして、この大会や試合の準備をしてくれているのが先生です。先生がいなければ、僕たちが本番に強い人間になることは到底できないと思うので、改めて、先生方に感謝したいです。

最後に三つ目は、「笑顔を大切にさせてくれる」ことです。僕の学校の先生方は、いつも笑顔で、とても過ごしやすい雰囲気をつくってくれています。それはきっと、僕たち生徒全員に、「ずっと笑顔で生きていってほしい」と伝えているのではないのでしょうか。僕の学校では、先日「学校祭」がありました。